

1 ソフトウェアについて

- 本マニュアルの内容は、予告なく変更する場合があります。
- 本ソフトウェアの仕様は改良の為、予告なく変更することがあります。
- 本書の内容の全部または一部を無断で転載、複製することは禁止されています。

2 商標について

本書で登場するシステム名、製品名、サービス名は、一般に各開発メーカーの登録商標あるいは商標です。
本文中では、TM、(R) マークは明記していません。

3 免責事項について

当社は、お客様が本ソフトウェアをダウンロードしインストールされた時点で、下記の免責事項を許諾いただいたものとみなします。

- 本ソフトウェアを使用したことによって生じた損害、損失及び第三者からのいかなる請求につきましても、当社は一切のその責任を負いかねます。
- 本ソフトウェアをダウンロードしインストールすることによって生じるいかなる問題についても、当社はその責務を負いかねます。
- 本ソフトウェアに関する財産権、所有権、知的財産権、その他一切の権限は、当社に帰属します。

4 ソフトウェアのインストール

- (1) CD-ROM またはダウンロードしたソフトウェアをダブルクリックします。
ファイル名：HAKKOControlSoftwareSetup X.X.X.X.exe
- (2) 言語を選択し、[OK] をクリックします。
- (3) 使用許諾契約書をご確認の上、[同意する] を選択し、[次へ] をクリックします。

図 1-1

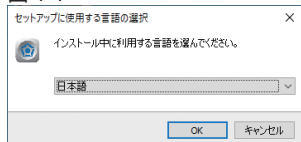
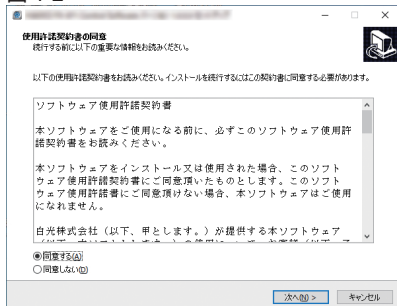


図 1-2



- (4) 以降、画面の指示に従って進めます。
- (5) 正常にインストールが完了すれば、ソフトウェアが自動的に立ち上がります。(図 1-3)
- (6) [終了] をクリックしてソフトウェアを終了します。(図 1-4 / 1-5)

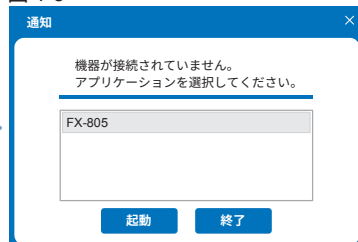
図 1-3



図 1-4



図 1-5

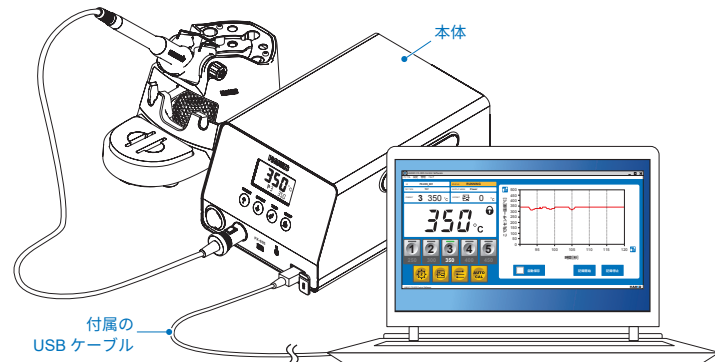


5 パソコンと接続

- (1) 付属の USB ケーブルで本製品とパソコンを接続します。
- (2) こて部をこて台に置きます。
- (3) ステーションとこて部を接続します。
- (4) ステーションの電源スイッチを入れます。
- (5) ソフトウェアを立ち上げます。

注記 パソコンを接続していても右図のように [- -] という表示がでた場合はステーションの電源スイッチを入れ直してください。

注記 2 m 以上の USB ケーブルは使用しないでください。



6 ソフトウェアのアップデート

下記の手順に従い、最新のソフトウェアをダウンロードします。

- (1) 白光 web サイトの [カスタマーサポート/サポート & サービス/ログイン・新規ユーザー登録] へアクセスします。



https://www.hakko.com/doc_support-j

- (2) ログイン、またはユーザー登録を行います。
- (3) [マイページ(製品登録はこちら)] をクリックして製品登録を行います。
注記 ソフトウェアをダウンロードするには [製品の登録] が必要です。
- (4) メニュー下の [製品資料ダウンロード] をクリックします。



- (5) 各種資料検索の [ソフトウェア] を選択します。
- (6) キーワードに製品名を入力します。
- (7) 言語を選択したら [この条件で検索する] をクリックします。
- (8) 検索結果の [ダウンロード] をクリックします。



白光株式会社

<https://www.hakko.com>

〒556-0024 大阪市浪速区堀草2丁目4番5号

TEL: (06) 6561-1574 (代) FAX: (06) 6568-0821

1. メニュー

ファイル

- ポート選択
ポート No. を手動で選択して接続します。
- ポート検索
ポートに自動で接続します。
- 終了
ソフトウェアを終了します。

設定

- 使用言語：日本語／英語／中国語
いずれかの言語を選択します。
- 表示温度単位：°C／°F
温度単位を選択します。

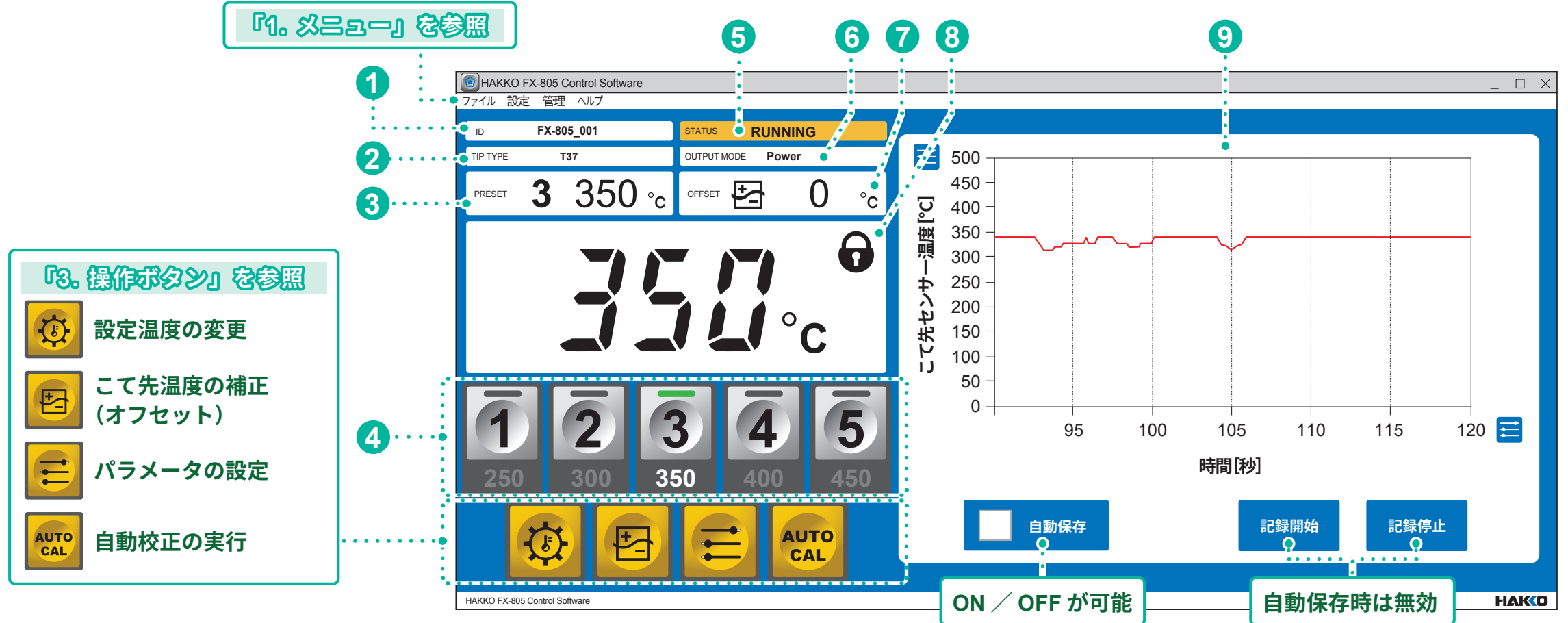
管理

- ファイル保存場所：
パラメータ設定ファイル／
自動校正結果ファイル／
こて先センサー温度モニターファイル
各ファイルの保存場所を選択できます。
注記 デフォルトはソフトウェアのインストール場所と同じです。
- こて先センサー温度モニター自動保存：
ON／OFF
[ON] にすると、こて先センサー温度を常に CSV ファイルで保存します。
注記 デフォルトは OFF です。
- こて先センサー温度ファイル分割間隔（分）：
1～120
CSV ファイルの分割を分単位で設定します。
注記 デフォルトは 5 分です。

ヘルプ

- 接続ステーションバージョン情報
ステーションに搭載しているファームウェアのバージョンが確認できます。
- バージョン情報

2. 初期画面



- ステーション名が表示されます。
☰ ボタンの [ステーション ID] でステーション名を登録できます。
- 使用中の **こて先タイプ**が表示されます。
こて先タイプを変更したら自動的にここの表示も変更されます。
設定温度の状態が表示されます。
 - 手動で温度を変更すると [SET TEMP] と表示されます。
 - プリセット温度を選択すると [PRESET] とプリセット No. が表示されます。

☑ ボタンで設定温度を変更できます。

ステーションの表示

ステーションの表示

プリセット温度ボタンのいずれかを選択、または手動で設定温度を変更できます。
- 各プリセット No. に**登録した温度**が表示されます。
☰ ボタンの [温度設定メニュー] で登録温度を変更できます。

プリセット No.

登録した温度

選択中 選択可 選択不可

プリセット温度の選択状態がボタンの色で表示されます。
- 選択不可とは？
☰ ボタンの [温度設定メニュー] で [プリセット 5 ON / OFF] が [OFF] になっています。

- ステーションの動作状態**が表示されます。
- RUNNING**
通常運転中
- SLEEP**
スリープ状態
- SHUT OFF**
シャットオフメニューで指定した時間が経過
- SENSOR ERROR**
こて先のヒーター／センサーが切れた状態
- GRIP ERROR**
適用外のこて部を接続、またはこて部が接続されていない状態
- NO CONNECTION**
ステーションの電源が OFF、またはステーションとパソコンが接続されていない状態
- HEATERSHORT ERROR**
適用外のこて先を挿入している状態
- ZEROCROSS ERROR**
電源の異常または本体が破損している状態
- TIP DETECTION ERROR**
適用外のこて先を使っている状態

- 選択している **出力モード**が表示されます。
☰ ボタンの [出力モード設定] で変更できます。
- 補正值（オフセット値）**が表示されます。
☑ ボタンで値を変更、または **AUTO CAL** ボタンで自動校正の実行を行うと変更できます。
- パラメータ設定の変更がロック状態**である場合に表示されます。
☰ ボタンの [ロックメニュー] で設定／解除できます。
- こて先センサー温度**をグラフにて表示されます。
 - グラフのデータを手動または自動で保存が可能
手動で記録を開始時：[停止] ボタンをクリックした時
自動保存で記録を開始時：[こて先センサー温度ファイル分割間隔（分）] で指定した時間
 - 保存時のファイル名
手動で保存時：FX-805TEMP_M_220101_093358.csv
自動で保存時：FX-805TEMP_220101_093358.csv

測定を開始した年月日と時間：2022 年 1 月 1 日 9 時 33 分 58 秒

- グラフの「時間軸」「温度軸」の設定変更が可能
☰ ボタンをクリックすると設定画面が表示されます。

保存先や自動保存時のタイミングは「1. メニュー」の [管理] を参照

時間軸のデフォルト		温度軸のデフォルト	
表示時間	30 秒	表示最高温度	500°C / 950°F
時間目盛間隔	5 秒	表示最低温度	0°C / 0°F
		温度目盛間隔	50°C / 50°F

3. 操作ボタン



設定温度の変更

- 設定温度の変更が可能
ここで設定温度を変更した場合、プリセット温度の選択が自動的に解除されます。



パラメータの設定

(取扱説明書の「今すぐできるパラメータ設定」を参照)

- A** にステーションの現在値が表示されます。
B の値を変更し、[確定] ボタンをクリックしてください。
ブザー音が鳴り、ステーションの液晶画面に [SyS] または [Set] と表示が出ます。
これにより、ステーションに **B** の値が反映されたことが分かります。

- 設定値を CSV ファイルで保存／読み込みが可能
[保存] ボタンをクリックすると **B** の値で保存されます。
デフォルトのファイル名：FX-805-Parameter.csv

- [読み込み] ボタンをクリックして CSV ファイルを選択し、
[確定] ボタンをクリックすると設定値の複製が完了します。
※ソフトウェアの左上に選択したファイル名が表示されます。

選択したファイル名に「*」が付いていたら ...

読み込み後、**B** の値を変更すると、ファイル名の末尾に「*」印が付きます。
例：FX-805-Parameter.csv*

パラメータ No. との対応表		
スリープメニュー		ロックメニュー
ON／OFF	パラメータ No. 07	パラメータ No. 14
始動時間	パラメータ No. 02	温度設定メニュー
温度	パラメータ No. 13	プリセット温度
シャットオフメニュー		プリセット ON／OFF
ON／OFF	パラメータ No. 08	パラメータ No. 24
始動時間	パラメータ No. 18	出力モード設定
アラームメニュー		パラメータ No. 12
エラーアラーム	パラメータ No. 05	
設定温度到達音	パラメータ No. 06	
下限温度エラー	パラメータ No. 03	

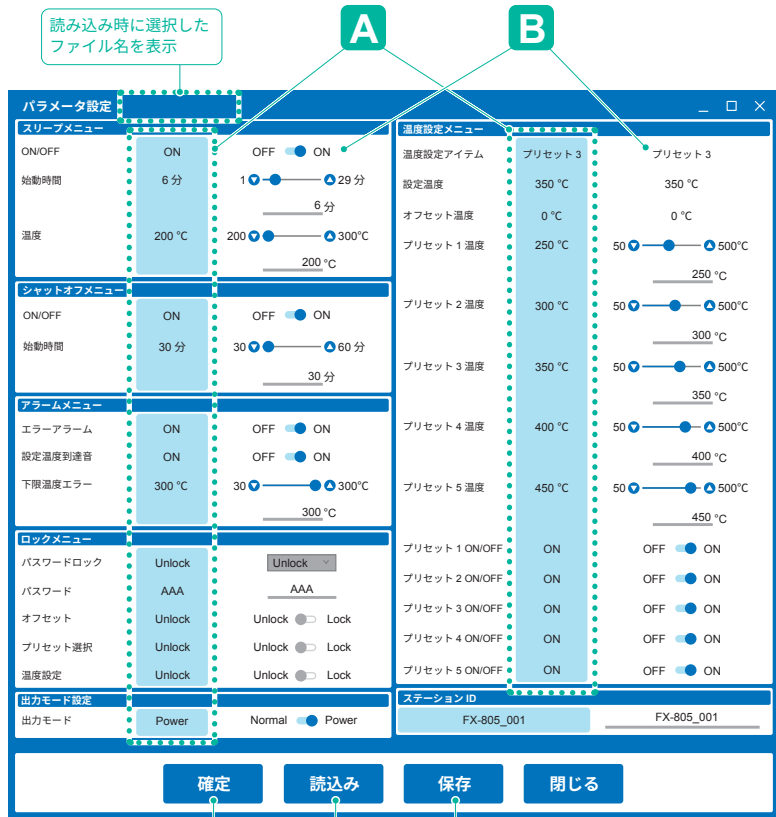
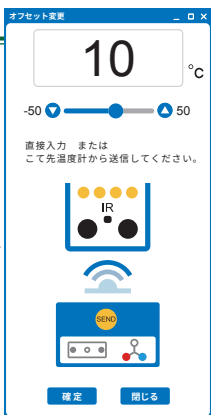


こて先温度の補正（オフセット）

(取扱説明書の「4-3. 操作方法」を参照)

- 以下の 2 つの方法でこて先温度の補正が可能
注記 ステーションがオフセットモード時は機能しません。

- | | |
|---------------------------|--------------------|
| ハッコーの温度送信機能付きのこて先温度計を使う場合 | マニュアルで入力する場合 |
| (1) こて先温度を測定する | (1) こて先温度を測定する |
| (2) オフセット値を入力する | (2) 測定した温度を送信する |
| (3) [確定] ボタンをクリック | (3) [確定] ボタンをクリック |
| (4) [閉じる] ボタンをクリック | (4) [閉じる] ボタンをクリック |



- 変更した値の確定
- ファイルの読み込み
- ファイルの保存

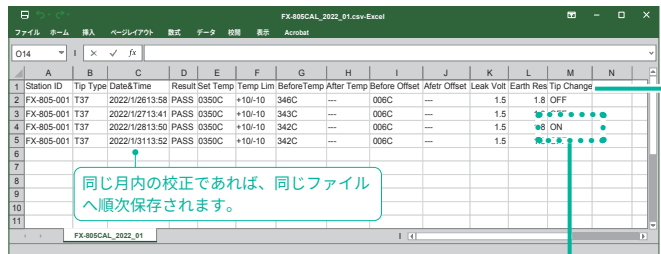


自動校正の実行

- 自動校正とは？
こて先の温度管理を自動化し、正しい校正結果を保存するまでの作業のことで。

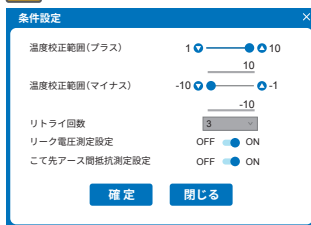
- 校正完了と同時に校正結果を自動で保存
● 校正結果は 1 ヶ月分を 1 ファイルにまとめて保存
ファイル名：FX-805CAL_2022_01.csv

製品名 校正した年月



- 校正手順
C こて先を交換した場合は、ここのチェックを入れてください。
校正結果のデータやグラフ表示した時にこて先を交換したタイミングが分かります。

- (1) ボタンで自動校正時の条件を設定します。



- (2) ボタンをクリックし、メッセージ **C** に従って校正します。

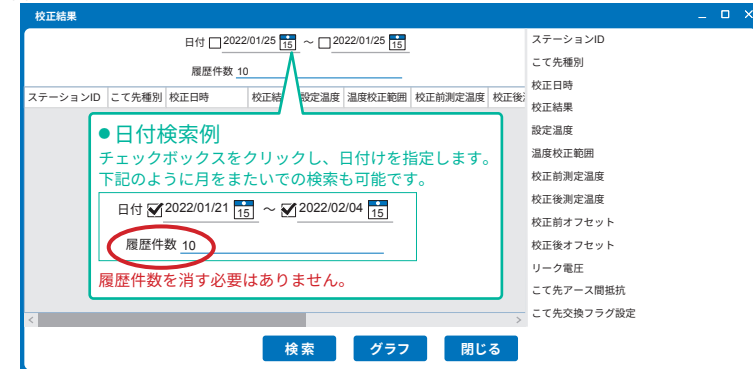
- 校正結果
検索条件は下記のいずれかを選択可能です。
 - ・ 日付検索 確認したい期間を年月日で指定
 - ・ 履歴件数 確認したい直近件数を指定

- 校正結果の表示手順



- 下記は「履歴検索」の手順例です。
注記 ステーションの電源を切っていても校正結果は表示できます。

- (1) [校正結果] ボタンをクリックすると、検索条件を入力する画面が表示されます。
- (2) [履歴検索] バーに [10] を入力します。



- (3) [検索] ボタンをクリックします。
- (4) 検索結果（直近 10 件分）が表示されます。



- (5) [グラフ] をクリックします。
- (6) 検索結果の 10 件がグラフ化されます。

